

福岡県版住宅リフォーム助成で景気底上げを



性

それを振り返ると、一千億円の予算の約3分

年の暮れになって、私の初立候補時から念願である那珂川水上バス構想実現が決まりました。就航は来春からであり、ほんとうに嬉しい年明けです。これもひとえに皆さまのご支援のおかげです。心より御礼を申し上げますと存じます。

リーマンショックで壊滅的な打撃を受けた景気はいまだ足踏み状態であり、失業率も高水準のまま。これ以上景気の低迷が長期にわたると、地域経済は加速度的に疲弊していくことが目に見えています。来年こそ確実な、そして大きな効果の見込める強力な改革案を打ち出して景気の底上げを図ることが必須であり、もう一刻の猶予もないというのが実感です。

9ヶ月前、今年の3月議会にて、私は福岡県版住宅リフォーム助成制度の提案を行いました。住宅リフォーム助成で、裾野が広く大きな波及効果が見込める建築産業を盛り上げることは賛成ですが、工費が膨らみやすい省エネリフォームの一部だけが対象とされている点、工費に対してエコポイントによるメリットが小さすぎる点など、高い効果を挙げるには制度上の不安のがあり、その不足点を補って確実な効果をあげるよう、境配慮型の住宅修繕、生活環境の保全には非常に重要な耐震診断や耐震改修など、間口を広げて上乗せ助成を行うという提案でしたが、知事は、国の制度はそのままで十分な効果が期待できるとして福岡県版助成の実施を見合わせる判断を下されたのです。

月刊脊振

福岡県議会議員
(南区選出)
ひぐち明
県政活動報告誌



の

高めて予算を上回る効果を得たとはいいがたく、3月にご提案した上乗せ助成による補完の必要性が明らかになったわけです。

消費意欲を高めて景気回復の原動力に

私は、この制度について、各県の施策を含めて注視してまいりましたが、目覚ましい効果が上がったのは秋田県です。当初予算、補正追加予算とも12月中に使い切り、リフォーム戸数は前年度比で倍増、経済波及効果は支出の15倍近くの約311億円をもたらしました。私の3月の提案のようなエコの枠組みすらなくし、全リフォームを対象とする思い切ったこの制度、経済の停滞が長引く今、福岡でもこの潔い決断が求められているのではないのでしょうか。

これを踏まえ、私は12月議会で、今度は全リフォームを対象とした福岡県版住宅リフォーム助成制度をリベンジ提案いたしました。麻生知事は、日銀の金融資産買い入れ、アメリカの景気回復や新興国の成長に伴う輸出増加などにより景気は持ち直すと予測されており、国の制度が拡充に向けた修正を行う点にも期待できるとのことです、今回も私の提案に前向きなお答えをいただけませんでした。

しかし私はいまなお、いち早い景気回復のためにはぜひこの提案を実現すべきであると強く主張したいと思えます。福岡県版住宅リフォーム助成制度の実現のためには、皆さまのお力が必要です。ぜひ、お力添えを賜りますようお願いいたします。

南区トピックス

横手小学校の協力のもと、コンポストを取り入れた環境学習に取り組んでいる横手エコー菜園クラブが、福岡市の第4回環境行動賞を受賞しました。子ども達が将来暮らす環境を守るのが私たち大人の役目。環境保全について、もういちど日々の行動を振り返り、できることから始めてみませんか？